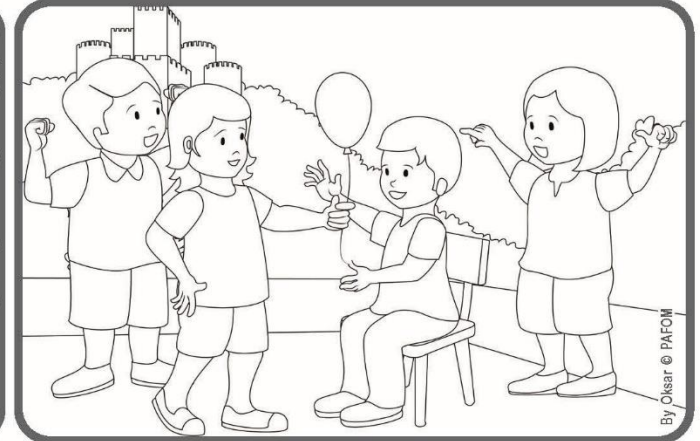
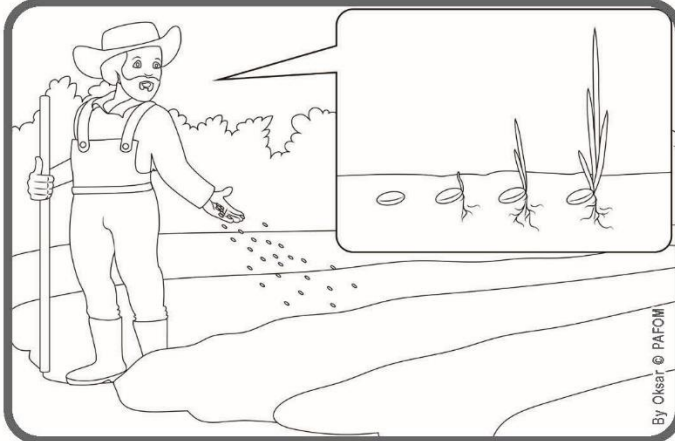


わたしたちのなかで、 あいがおおきくなるようにしましょう。

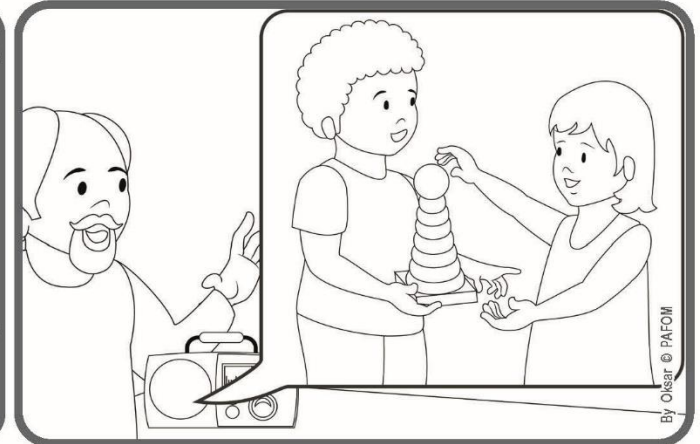
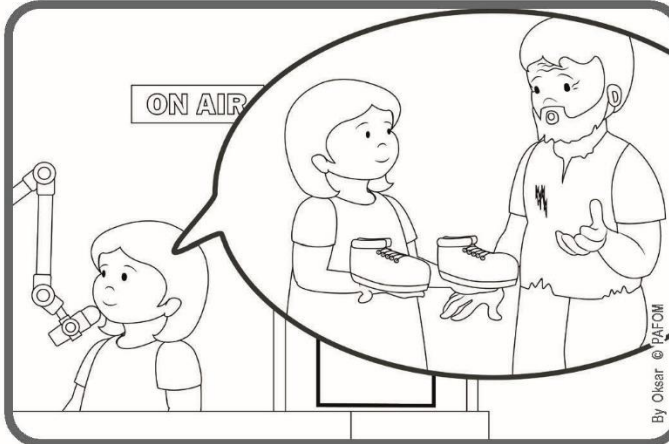
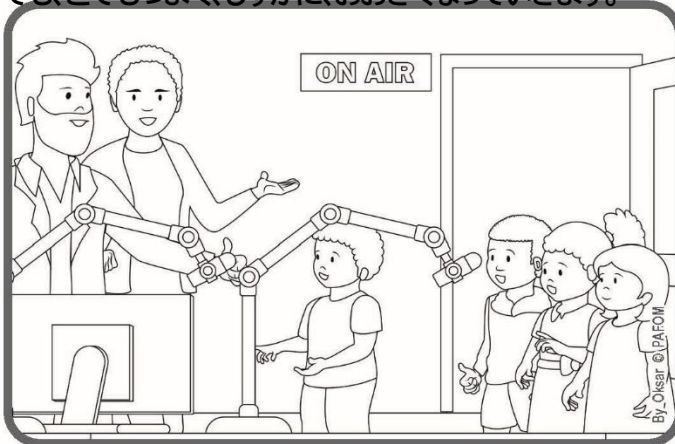
かみのくには、つぎのようなものである。ひとがつちにたねをまいて、よるひる、ねおきしているうちに、たねはめをだしてせいちょうする。(マルコ4・26-27)



あなたは、はたけではたらくひとが、たねをつちのうえにまくのをみたことがありますか？たねはすこしずつかたちをかえておおきくなります。イエスさまがまかれたたねは、ちいさくても、とてもつよく、しずかに、おおきくなっていきます。

そのきのえだは、こんなにおおきくなり、そののとりはそのきのえだにすをつくりにきます。

このように、すべてのあいのおこないは、ちいさなことでたくさんの方のいのりをもたらし、みんなよろこびをあたえます。



ワオー、わたしたちは、ラジオきょくからよばれました。ちゃんとじゅんびしなければ！ほうそうのひ、ラジオきょくにふくとぜんぶじゅんびしてありました。たくさんのマイク、でもジェン4たちは、あわてません。

カルメンがマイクをとり、いいます。「わたしはおもちゃをもっていいともだちに、あげました。」スザンナがいいます。「まずいくつかのものをとって、いひとをたすけたとき、おじさんからもらったあたらしくつをあげる事ができて、うれしかったです。」

ジェン4とは、キアラ・ルービックが創立したフオコラーレの子どもたちです。
© PAFOM, フオコラーレ www.focolare.org. イラストと文-ジェン4センター監修

フランシスコは、おもちゃをいもうとにかしたことはなしました。さいごにラジオきょくではたらくひとが、かんしゃしていました。「みんなのちいさなけんがとおくまでといて、たくさんのひとによろこびをあたえましたよ。」(サルバトルのジェン4)。